

# ATAC ニュース

## 〔公的支援制度を活用しましょう!〕

ATACは中堅・中小企業の抱えるさまざまな問題のうち、主として技術的な分野での課題解決のお手伝いをしておりますが、その中でしばしば公的な補助金制度の活用法の相談を受け、その申請や補助金を利用した研究の進捗、結果の整理などに協力をして参りました。

そこで昨年関西の中堅・中小企業から数十社を選び補助金の活用について訪問調査を行い、その結果は大阪科学技術センター発行の機関誌「the OSTEC vol.11 No.6」（平成14年6月号）に紹介してあります。

この調査で、これまで補助金制度を利用されなかったところでは、その主要な理由として制度の詳細や募集時期を知らなかったことが挙げられました。そしてこれらの情報をもっと掴み易くすることが望ましいというご意見に応じて、ATACでは昨年7月からご希望の企業様（現在 92社）へ電子メールまたはFAXで「ATAC公的支援ニュース」をお届けし、補助金を中心とした公的支援の募集情報を適宜お報せしています。

さて毎年1月は翌年度予算に基づく補助金（省庁や府県あるいは制度により名称はまちまちです）の募集月です。現在募集中あるいは募集予定の技術開発関連補助金は下表の通りです。

これらの内容詳細については「ATAC公的支援ニュース」で逐次流しておりますが、不明の点についてはATAC事務局にお問い合わせください。

先に述べました補助金活用調査でも、申請書を書くのが煩わしくまた要領よく書くのが苦手だということ

をしばしばお聞きしました。しかし採用は主として書類審査ですから、簡潔しかも分かり易く書くことが不可欠です。そのための留意点について述べてみます。

### 1. 概要をしっかりと纏める

申請要項には必ず申請する内容をほぼ300字程度でまとめる概要記述が求められています。この記述如何で採否が大きく分れるというくらいの最も大事な箇所と言えます。

目的、方法、新規性、社会的意義等々が簡潔、平易に記載されていることが大事です。

### 2. 提出前の相談をする

申請したい案件についてまずA4で1～2枚程度にまとめて、公募開始と同時に担当窓口で相談することが効果的です。

このとき担当者が目の色を変えるくらいに興味を示すテーマであれば相当な確率で採択に繋がります。目的、実施方法、予算など実現性が高い印象を持って貰えることが大事です。

### 3. 時代に沿ったテーマであること

公募研究は、その時代に必要な研究を支援することが目的ですから、社会情勢の要求に応える内容であることが必要です。

本年の課題は、雇用増進、国内空洞化防止に寄与、新規市場創出等が注目を集めるでしょう。環境関連、ナノテク、IT関連等は多く採択されると思われます。

ATACは、これまで申請に関していろいろな観点から相談にあずかってきました。今回もお気軽にご相談いただくようお待ちしております。

補助金名称	募集期間
大阪府技術向上奨励費補助金	平成15年1月6日～1月17日
大阪府経営革新支援事業	平成15年1月6日～1月17日
奈良県中小企業技術開発促進補助金	平成15年1月6日～1月24日
滋賀の新しい産業づくり促進費補助金	平成14年12月9日～平成15年1月10日
京都府創造技術研究開発費補助金	平成15年1月6日～1月17日
兵庫県技術向上奨励費補助金	平成14年12月25日～平成15年1月31日